

9/25
日不

廃止求める意見書 岩手県議会が可決

岩手県議会は二十四日、安全保障関連法の廃止を求める意見書を賛成多数で可決した。全国都道府県議会議長会は「これまで同様の意見書が都道府県議会でも決された例は聞いていない」としている。

意見書は、十九日未明に成立した安保関連法について「国会審議で憲法違反であることが明白になった。十分な審議を行わずに成立したことは極めて遺憾だ」として、廃止を求めた。二十四日の県議会本会議に、民主党や生活の党の県議らで構成する会派が提出。共産党や社民党

も賛成に回り、可決された。

岩手県議会は七月、審議中だった安保関連法案の廃案を求める意見書も可決している。